

平成30年8月24日
午前11時30分発表



広報資料

問い合わせ先

第一管区海上保安本部

海洋情報部 監理課長 坂本平治

TEL 0134-27-0118 (内線 2510)

北海道150年 地図・海図で見る今昔

～日本近海3D海底地形図も展示～

第一管区海上保安本部では、9月12日の水路記念日^{※1}にあわせてパネル等の展示を行います。

9月1日(土)余市宇宙記念館において3D海底地形図フロアーマット等の展示を実施し、9月12日(水)から19日(水)までの間小樽市総合博物館においてパネル展示を実施します。

第一管区海上保安本部では、9月12日の「水路記念日」にあわせた企画展示を例年行っています。

今年は、余市宇宙記念館及び、小樽市総合博物館で展示を行います。今年が北海道150年及び海上保安制度70周年にあたることから地域の移り変わりを海図から感じていただけるよう古い海図と現在の海図を見比べていただけるよう展示します。

1. 展示日時・場所

(1) 余市宇宙記念館内(余市郡余市町黒川町6丁目4)

9月1日(土) 午前9時から午後5時

(当日は「毛利記念日^{※2}」で入館無料)

(2) 小樽市総合博物館本館エントランス(小樽市手宮1丁目3番6号)

9月12日(水)～19日(水)、午前9時30分から午後5時

(パネル展示会場は無料、9月18日(火)は休館日)

2. 展示内容

(1) 余市宇宙記念館

日本近海3D海底地形図フロアーマット(横4m縦2m)展示

過去及び現在の余市港の海図展示

人工衛星を使った海氷観測の業務紹介パネル展示、他

*職員による解説を行います。

(2) 小樽市総合博物館本館

過去および現在の小樽港の海図展示

国土地理院による過去および現在の小樽市の地図展示

日本近海3D海底地形図掲示

人工衛星を使った海氷観測の業務紹介パネル展示、他

※1:水路記念日

明治初期、次々に日本に來航した諸外国が、日本沿岸の測量を行い、海図を作るなどして日本周

辺の地を明らかにしていく事態に、明治政府は国防のみならず海運のために自ら測量して海図を作製することの重要性を認識し、1871年（明治4年）9月12日（旧暦7月28日）に兵部省海軍部に水路局（国の海洋調査機関）を設立し、組織的に我が国独自の海図の作製に取りかかりました。現在では、海上保安庁がその業務を引き継ぎ、航海安全・海洋権益保全等のための海洋調査のほか、近年では海に関する多様なニーズに応え、海を利用するために必要な情報を提供しています。海上保安庁ではこの147年前に水路局の誕生した9月12日を水路記念日としています。

※2：宇宙の日、毛利記念日

1992年は、世界中が協力して宇宙や地球環境について考えようという国際宇宙年(ISY)でした。日本においても、この国際宇宙年をきっかけに末永く宇宙の普及活動を行おうと考え、一般の方々から「宇宙の日」にふさわしい日を公募しました。その結果、1992年、毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトルで初めて宇宙へ飛び立った日、「9月12日」が選ばれました。以後、毎年9月12日を「宇宙の日」として、様々な関連行事を行っています。（「宇宙の日ホームページ」より）

宇宙記念館では今年「開館20周年記念事業」の特別開館を9月1日に「毛利記念日」として実施する。